

1. 第 42 回日本医学教育学会大会

志村 俊郎（日本医科大学）

第 42 回本大会は、2010 年 7 月 30 日・31 日に東京の都市センターホテルで日本医科大学を主管校（学長・田尻孝大会長）として開催された。大会の基調テーマとしては、「社会と共に歩む医学・医療教育を求めて」を掲げた。大会参加者は、1,067 名であった。田尻大会長講演は、「良医の育成を考える－日本医科大学 130 年有余の歴史から－」と題した市民公開講演として、名誉会長日野原重明先生から「健康と幸福－医師と患者とのすれ違いにどう対応すべきか、達成したい健康のレベルと幸福感－」と題するご講演を頂いた。特別講演Ⅰは神津忠彦先生（東京女子医大）が、「現実と向き合う『医のプロフェッショナリズム』」、特別講演Ⅱは黒川 清先生（政策研究大学院大学）が、「『休学のすすめ』：グローバル『Web2.0』時代の人材育成」、また特別講演Ⅲはノンフィクション作家の柳田邦男氏が、「医学の急速な進展と対患者関係～『2.5 人称の視点』の提言～」と題しご講演を頂いた。海外招請講演は、医学生の実行や生涯の医師としての就労におけるプロ

フェッショナリズムを専門分野としている Papadakis 先生（University of California, San Francisco）に“Trends in the Assessment of Professionalism”と題し、良医育成のために必要とされる知識と対応についてのご講演を頂いた。その他のプログラムの内容は、日韓医学教育学会交流招請講演 1 題、日本医学会総会との共催シンポジウム 1 題、シンポジウム 5 題、パネルディスカッション 5 題、受賞者講演（牛場賞、医学教育日野原賞）2 題、また公募一般講演として口演 231 題、ポスター 167 題、計 398 題の多数にのぼり、その他プレコンgres ワークショップ 3 題もあり多彩な内容であった。

■文 献

志村俊郎. 第 42 回日本医学教育学会大会の運営報告. 医学教育 2010 ; 41(6) : 453 - 6.

2. 第 43 回日本医学教育学会大会

井内 康輝（株病理診断センター）

第 43 回日本医学教育学会大会は、広島で初めて開催された大会である。2011 年 7 月 22 日・23 日、広島国際会議場において、広島大学を主管校とし、大会長を吉栖正生医学部長、名誉大会長を浅原利正学長（医学部出身）、実行委員長を井内康輝として開催された。

2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生し、そ

れに続く原子力発電所の放射能漏れ事故の影響は深刻で、3 月から 5 月にかけての学会シーズンに予定されていた多くの学会が中止ないし日程変更を余儀なくされたが、本学会は幸いにも西日本での開催であり、7 月には電力不足の解消や交通網の復旧がなされると予想して開催にふみきることとした。ただし、広島大学を中心にこれまで蓄積